

9月29日 なくそう迷惑喫煙キャンペーン

10月1日施行の「路上喫煙マナー条例」の啓発・周知活動の一環として、富岡市長らが、熊谷駅・籠原駅利用者に啓発パンフレットなどを手渡しました。



熊谷駅でパンフレットを手渡す富岡市長

9月15日 「朝食応援大作戦」レシピ集贈呈式

「熊谷の子どもたちを朝食で元気にする会」が作成し、市内の小・中学生のいる家庭に無償配布された朝食レシピ集の贈呈式が、市長室において行われました。



9月15日 パシフィック・リム記念写真撮影500組目

中村和之さん磨理さん夫妻が、パシフィック・リム結婚記念写真500組目になり、富岡市長より花束と記念品が贈られました。



記念品を手渡す富岡市長と中村さんご夫妻

9月15日 「秋の全国交通安全運動」出発式

商工会館で出発式が行われた後、白バイを先頭にした交通パトロール隊が、市役所前を出発しました。



9月25日 ジェームスハーゲストカレッジ市長表敬

ニュージーランドにある姉妹都市インバーカーギル市の、ジェームスハーゲストカレッジの生徒と関係者が、富岡市長を表敬訪問しました。

10月4日 台湾の国立羅東商業高校の生徒が市長表敬

県立妻沼高等学校の視察および交流のために熊谷を訪れた、台湾の国立羅東商業高校の生徒32人と教諭3人が、妻沼高校の高木校長とともに富岡市長を表敬訪問しました。



第17回 太田松茸道中 10月1日

江戸時代に行われたといわれる「献上松茸道中」にちなんで、当時の衣装を身にまとった一行が、太田市の大光院から妻沼聖天山まで松茸を運びました。

10月12日～16日 妻沼聖天山歓喜院聖天堂彫刻彩色展

国指定重要文化財「歓喜院聖天堂」の、保存修理作業や工程などを中心に写真パネルで紹介する展示会が、八木橋百貨店のカトリアホールで開催されました。



9月25日 手作り炭酸まんじゅう教室

農業活性化センター「アグリメイト」で、地粉を使った手作りまんじゅう教室が開かれました。



10月8日 姥女榿の会による妻沼行政センターの植木刈り込み奉仕作業

姥女榿の会(飛田之男会長)の会員が、早朝より集まり、妻沼行政センター玄関前や敷地にある植木等の、刈り込み奉仕作業を行いました。

10月7日～9日 健康スポーツセンターイベント

体育の日を中心に、健康相談や青空ウォーキングなどの健康イベントが開催され、たくさんの方々でにぎわいました。



フットバスの利用体験

熊谷市戦没者・戦災死没者追悼式 10月13日

先の大戦で犠牲になられた方々の慰霊と、世界の恒久平和を願うための追悼式が、熊谷会館にて挙行されました。



9月23日 男性セミナー

経済産業研究所総務副ディレクターの山田正人氏による「育休中の男性の子育て」をテーマにした講演会が、男女共同参画推進センター「ハートピア」で行われました。



市報クイズ

《今月号の問題》
①来年の成人式は、市内のどこで開催される予定でしょうか?
《ア》熊谷文化創造館さくらめいと
《イ》彩の国くまがやドーム体育館
《ウ》埼玉県熊谷会館
②熊谷市と姉妹都市提携している、ニュージーランドの都市はどこでしょうか?
《ア》クライストチャーチ
《イ》オークランド
《ウ》インバーカーギル

《今月の景品》
中家堂ご提供の「大軍配3袋小軍配2袋のセット」を、正解者の中から抽選で30人に差し上げます。当選者には、引換券をお送りしますの景品と引き換えください。

今月のテーマ「熊谷の冬を楽しむ」についていただいたコメントは、市報や市ホームページで紹介させていただく場合があります。

裏		表	
答え	住所 氏名 年齢 電話番号	熊谷市宮町二丁目47番地1 熊谷市役所 広報広聴課 あ	熊谷市宮町二丁目47番地1
今月のテーマ 「熊谷の冬を楽しむ」	《応募方法》ハガキまたはEメールに、クイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号・今月のテーマについてのコメントを記入の上、11月22日(水)までにご応募ください(1人につき1通)。(Eメールアドレス) kohokocho@city.kumagaya.lg.jp		



第1回 江南町の概要

江南町を紹介します

江南町は、荒川の雄大な流れのもとにつくられた、人口約12,000人の豊かな土地と美しい水のあるまちです。荒川の南に位置することから、中国の揚子江南岸にある江南の地になぞらえ、古くから「江南」と称されていたことがまちの名の由来になっています。

江南町 総務課 ☎536-1521



原谷公園

町域は東西約5.8km、南北約5.6km、総面積は22.85kmあり、北部の御正地域は荒川南岸の沖積地帯で水田が多く、南部の小原地域は洪積台地上にあつて、中央部は台地が広がり、畑や平地林におおわれるなど、荒川の古い河岸段丘によって分けられた南北対照的な地域になっています。

昭和30年、町村合併促進法の施行により、御正村と小原村が合併し、江南村が誕生しました。これを契機に、それまで稲作と養蚕が主な産業であつた純農村地帯に、新しいまちにふさわしい基盤づくりが進められていきます。

交通体系の整備をはじめ、学校施設の充実や上水道の整備など生活基盤の整備を進め



江南町役場庁舎



交通の要となる押切橋



総合文化会館ピビア

一方、工場の誘致や宅地の造成、県施設の受入れも積極的にを行い、都市的形態のまちへと変貌してきました。そして、昭和60年11月1日、町制を施行し、埼玉県下41番目の町となりました。

その後、平成3年には、交通の要となる押切橋が開通、平成8年には、文化活動の拠点となる総合文化会館ピビアがオープンするなど施設整備が進められたほか、町中心部の土地区画整理事業により機能的なまちづくりを展開する一方、先人が残した豊かな自然を守るため、環境保全にも積極的に取り組んできました。

農業集落排水処理施設の整備を進めた結果、水質が改善し、ホタルが舞う姿が見られるようになり、「ホタルの保護に関する条例」を制定して保護に努めています。

豊かな自然・歴史と生活の場としての都市基盤の調和のとれたまち、それが江南町です。



data

【和名】ムサシトミヨ
フンギティウス
 【学名】Pungitius sp.
スティックルバック
 【英名】Stickleback

【形態】全長35mm～60mmで、背びれに8～9本、腹びれに1対、尾びれに1本の棘条とよばれるトゲを持ち、体色は暗緑色で、体側に薄黒い斑紋がある。

くまがや
 見る/聞く/歩く
 東西南北

世界で熊谷市だけに棲むムサシトミヨを知っていますか。

埼玉県の天然記念物に指定され、県の魚としても知られるムサシトミヨは久下地区を流れる元荒川の源流に生息しています。かつては県内に広く分布していましたが、生息環境の変化により今では、熊谷市に生息するのみとなりました。

ムサシトミヨってどんな魚？

ムサシトミヨは大きさが3.5～6cmの小さな魚で、背びれ・腹びれ・尻びれにトゲを持つ「トゲウオ」の仲間です。敵から身を守る時にトゲを出します。このトゲウオの仲間には、水草を集めて小鳥のような巣を作つて卵を産みます。産み付けられた卵はオスが守ります。ムサシトミヨの寿命はおよそ1年とされています。

熊谷を流れる清流「元荒川」

文化財指定区域「元荒川ムサシトミヨ生息地」は、ムサシトミヨ保護センターから下流へ約400mまでの区間で、周辺の家庭から生活排水が流れ込まないよう配慮され、清流を保っています。

元荒川上流部は、ムサシトミヨの巣の素材や隠れ場所になるコカナダモが群生し、中流域から下流域にはレッドブツク（環境庁編）準絶滅危惧種であるミクリが多く見られます。



写真提供＝県 環境科学国際センター

ムサシトミヨの一生

① 卵 1月～9月頃メスをさそい、産卵する。ふ化後6～7か月で成魚になり、巣作りを始める。

② 稚魚 1cm程に成長すると外敵から巣を守り、胸びれで卵に新鮮な水を送り込む。

③ 成魚 オスが作った巣に1月～9月頃メスをさそい、産卵する。

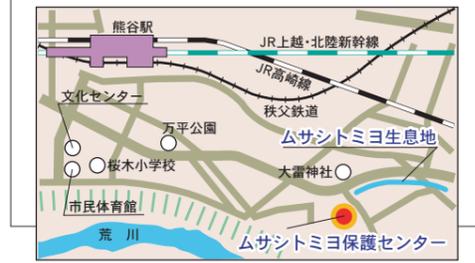
④ 成魚 外敵から巣を守り、胸びれで卵に新鮮な水を送り込む。

ムサシトミヨに会いにいこう

ムサシトミヨ保護センターに「熊谷市ムサシトミヨをまもる会」の人たちが集っています。ムサシトミヨの詳しいお話を聞くことができます。

とき 毎月第1・第3日曜日 9:00～10:00

ところ ムサシトミヨ保護センター
 ☎521-7185 久下2148-1
 社会教育課 ☎内線394



ムサシトミヨ保護センターのビオトープ（生物の生息空間）



平成17年越夏調査（佐谷田小学校）

現在の生息数とムサシトミヨの保護

平成18年1・2月に行った調査の結果から15,700匹くらいはムサシトミヨが棲んでいると考えられています。

ムサシトミヨの保護と生息数を増やすためにムサシトミヨ保護センターを拠点に「熊谷市ムサシトミヨをまもる会」が活動し、県環境科学国際センターによる繁殖・研究が行われている他、佐谷田小学校・久下小学校・熊谷東中学校で増殖活動が行われています。

これからもムサシトミヨが棲める環境を守り続けていきましょう。



10月8日 報恩寺(円光)での奉納太鼓 (写真中央が須藤さん)



郷土に息づく「音」を次の世代に

武州天野流妻沼太鼓 天鼓会

須藤 恵さん

(建築塗装業・妻沼)

祭りや太鼓に囲まれて育つ

天鼓会は、私の父が発起人となり、昭和60年に設立されました。当時、父は聖天様の例大祭など地元の祭りに深く関わっていたので、家族にとつて、祭り囃子や太鼓の音色は生活の一部でした。高校生のとき、父と同行して初めて太鼓を叩いたのですが、天鼓会のメンバーは、皆子どもの頃から顔見知りでしたから、自然と仲間入りできましたね。高校卒業後、10年間地元妻沼を離れていましたが、6年前に家業を継ぐために妻沼に戻り、再び太鼓を叩き始めました。

現在、天鼓会の曲のレパートリーは5つあり、15人程のメンバーで、週に2回練習をしています。私は主に中堂太鼓を担当しています。太鼓を叩いているときは、気合が入り、嫌な事を全て忘れることができます。でも、太鼓は本当に奥が深い。叩けば叩くほど心の演技というのとはなかな

かできないものです。メンバーの心を一つにし、太鼓・笛・鉦の音色が織りなす美しいハーモニーを作ること、これが私たちの大きな目標です。

地元妻沼の「音」を伝承していく

天鼓会は、聖天様の春と秋の例大祭と元旦の奉納太鼓を中心に活動していますが、昨年の合併以降活動の場が広がり、市内のイベント等と呼ばれて太鼓を披露することも多くなってきました。生まれ育った妻沼町の地名が無くなったときは、とても寂しい気持ちになりましたが、妻沼太鼓が築き上げた郷土の「音」はこれからも続いていきます。また、この「音」を次世代に伝承していくことが私の使命でもあります。

地域の皆さんや子どもたちに私たちの太鼓をぜひ聞いていただき、ぜひ太鼓の魅力を知ってほしい。そして、興味を持たれた方は、ぜひ一緒に太鼓を叩きま

地場産農産物で Oh!フレッシュクッキング

今月の料理人は中奈良の小島 ずづ子さん

「ミニくま」シリーズで作る ミニカリフラワーのミニコロッケ

- 材料(4人分)
- ミニカリフラワー... 1個
 - サラダ油.....適宜
 - ジャガイモ... 2個(300g)
 - (付け合わせ)
 - ニンジン.....1/4個(60g)
 - ミニトマト..... 8個
 - 卵..... 1個
 - ミニキャベツ... 1個
 - 小麦粉・パン粉..... 適宜
 - ミニキュウリ... 4本

- ①ミニカリフラワーは小さく切り分け、ニンジンは1ちょう切りにし、熱湯で茹でる。
- ②ジャガイモはふかして皮をむき、つぶしておく。
- ③ボールに①と②を入れよく混ぜ合わせて、8等分してから俵型に成形する。
- ④③に小麦粉・溶き卵・パン粉の順につけ、サラダ油で揚げる。

- ⑤皿に刻みミニキャベツを敷きコロッケをのせ、ミニトマト・ミニキュウリ(板ずりしたもの)を一口大に切り添えて出来上がり。「ミニくま」野菜は無駄なく、食べきりサイズです。ぜひ試してください。



農業振興課 内線442

一言アドバイス

カリフラワーは、ビタミンCや食物繊維が多く、かぜや便秘の予防に有効です。水1ℓに対して、大きさ1程度程度の酢を加えた湯でゆでると、アクによる変色を防ぐことができます。健康づくり課 528-0601

人口と世帯 ●平成18年10月1日現在(対前月比)

■人口 194,551人(+23) 男 97,457人(+3) 女 97,094人(+20) ■世帯 74,918世帯(+55)

「市報くまがや」は、自治会を通してお届けします。また、市役所・行政センター・出張所・公民館・駅連絡所などでもお配りしています。インターネットでも「市報くまがや」をご覧になれます。(URL) <http://www.city.kumagaya.lg.jp/> 「市報くまがや」は毎月1日(原則)に発行します。